

中級ミクロ経済学Ⅱ（再履修） 第3回授業内課題

問題作成者：北村 友宏

2018年6月20日

学籍番号：_____ 氏名：_____

※解法が分からなければ、空白のまま提出しようとせず、担当教員に質問してください。

1. 生産要素を2種類用いて財を1種類生産する企業を考える。生産関数は

$$f(x_1, x_2) = 4\sqrt{x_1} + 2\sqrt{x_2}$$

である。また、要素価格ベクトルは、 $(w_1, w_2) = (2, 3)$ である。財を y 単位生産するのに必要な最小費用を求め、この企業の費用関数 $C(y)$ および限界費用関数 $MC(y)$ を導出したい。このとき、以下の問いに答えなさい。

(a) 財を y 単位生産する場合の費用最小化問題を書きなさい。

(b) 要素1と要素2の限界生産物 MP_1 と MP_2 を求めなさい。

(c) 生産要素の最適投入量においては技術的代替率 TRS と「要素価格比にマイナスをつけたもの」が等しいという接線条件を利用し、最適投入量における要素2の投入量 x_2 を要素1の投入量 x_1 の式で表しなさい。

(d) (c) で導出した式を等量曲線の式（費用最小化問題の制約条件式）に代入することにより，最適な要素 1 の投入量を y の式で表しなさい．

(e) 最適な要素 2 の投入量を y の式で表しなさい．

(f) (d) と (e) で求めた最適投入量を，費用の定義（費用最小化問題の目的関数）に代入したものを費用関数 $C(y)$ とする． $C(y)$ を求めなさい．

(g) 限界費用関数 $MC(y)$ を求めなさい．

授業内課題解答

解答作成者：北村 友宏

※答案には重要な計算過程を示していればよい。ここまで詳しく説明する必要はない。

1. (a) 費用最小化問題は、

$$\begin{aligned} & \min_{x_1, x_2} 2x_1 + 3x_2, \\ & \text{s.t. } \underbrace{4\sqrt{x_1} + 2\sqrt{x_2}}_{=f(x_1, x_2)} = y. \end{aligned}$$

(b) 要素 1 の限界生産物は、

$$MP_1 = \frac{\partial f(x_1, x_2)}{\partial x_1} = 4 \cdot \frac{1}{2} x_1^{-\frac{1}{2}} = 2x_1^{-\frac{1}{2}}.$$

要素 2 の限界生産物は、

$$MP_2 = \frac{\partial f(x_1, x_2)}{\partial x_2} = 2 \cdot \frac{1}{2} x_2^{-\frac{1}{2}} = x_2^{-\frac{1}{2}}.$$

(c) 接線条件より、

$$\begin{aligned} \underbrace{-\frac{MP_1}{MP_2}}_{\text{技術的代替率 TRS}} &= - \underbrace{\frac{w_1}{w_2}}_{\text{要素価格比}} \Leftrightarrow -\frac{2x_1^{-\frac{1}{2}}}{x_2^{-\frac{1}{2}}} = -\frac{2}{3} \\ &\Leftrightarrow \frac{2x_1^{-\frac{1}{2}}}{x_2^{-\frac{1}{2}}} = \frac{2}{3} && \text{両辺} \times (-1) \\ &\Leftrightarrow \frac{x_1^{-\frac{1}{2}}}{x_2^{-\frac{1}{2}}} = \frac{1}{3} && \text{両辺} \div 2 \\ &\Leftrightarrow x_1^{-\frac{1}{2}} x_2^{\frac{1}{2}} = \frac{1}{3} && \text{左辺の分母と分子} \times x_2^{\frac{1}{2}} \\ &\Leftrightarrow x_1^{-1} x_2 = \frac{1}{9} && \text{両辺} \times 2 \text{ 乗} \\ &\Leftrightarrow x_2 = \frac{1}{9} x_1. && \text{両辺} \times x_1 \end{aligned} \tag{1}$$

(d) (1) を等量曲線の式に代入すると,

$$\begin{aligned}4\sqrt{x_1} + 2\sqrt{\frac{1}{9}x_1} = y &\Leftrightarrow 4\sqrt{x_1} + 2 \cdot \frac{1}{3}\sqrt{x_1} = y \\&\Leftrightarrow 4\sqrt{x_1} + \frac{2}{3}\sqrt{x_1} = y \\&\Leftrightarrow \left(4 + \frac{2}{3}\right)\sqrt{x_1} = y \\&\Leftrightarrow \frac{12+2}{3}\sqrt{x_1} = y \\&\Leftrightarrow \frac{14}{3}\sqrt{x_1} = y \\&\Leftrightarrow \sqrt{x_1} = \frac{3}{14}y \\&\Leftrightarrow x_1 = \frac{9}{196}y^2.\end{aligned}$$

よって, 要素 1 の最適投入量は,

$$x_1 = \frac{9}{196}y^2.$$

(e) 要素 1 の最適投入量を (1) に代入すると, 要素 2 の最適投入量は,

$$x_2 = \frac{1}{9} \cdot \frac{9}{196}y^2 = \frac{1}{196}y^2.$$

(f) 要素 1 と要素 2 の最適投入量を費用の定義に代入すると,

$$2 \cdot \frac{9}{196}y^2 + 3 \cdot \frac{1}{196}y^2 = \frac{18+3}{196}y^2 = \frac{21}{196}y^2 = \frac{3}{28}y^2.$$

よって, 費用関数は,

$$C(y) = \frac{3}{28}y^2.$$

(g) (e) で求めた費用関数を y で微分すると,

$$MC(y) = \frac{dC(y)}{dy} = \frac{3}{28} \cdot 2y = \frac{3}{14}y.$$

よって, 限界費用関数は,

$$MC(y) = \frac{3}{14}y.$$